



江戸時代は大きな争いがなく安定していたことを内政や外政の観点で説明できることを単元のゴールに設定しました。第1～4時は、予想をもとに江戸幕府の政策を調べる時間です。「単元の見通しをもつ」（計画）「自らツールを選び、学習に取り組む」（選択）場面を仕組みました。

教師の働きかけ

単元進行表に、単元の学習目標や時間数などを記載し、見通しをもって学習に取り組めるようにしました。毎時間の課題をもとに、「何を調べるのか」「どうやって調べるのか」「誰と調べるのか」を考えさせて、調べ学習に臨ませました。

自己決定場面を大切にし、調べる内容や方法を自己選択できるようにしています。調べ学習に使うツールや教科書、1人1台端末は、これまでの活用場面を想起させ、自分でより良いものを選べるよう声掛けしました。

ツールを活用し、自分の思考を整理・分析させ、新たな考えに気付けるようにしました。また、児童のまとめを紹介し、価値付けしました。



【単元の見通しをもつ】

「なぜ、江戸時代は争いが少ないのか」という問いから、既習内容をもとに予想を立てました。児童の予想を教師が「江戸幕府の内政と外政」に分類したことで、児童は、「庶民や大名の反乱を防ぐ政策を調べる」（内政）「外国との交流を調べる」（外政）など、単元進行表にまとめました。その後、単元進行表に、毎時間のめあてを記入し、調べ学習を進めていきました。

【自らツールを選び、学習に取り組む】

調べ学習では、自分の目的に合った思考ツールを使い、教科書やインターネット、動画などを活用して学習に取り組みました。児童Aは、調べた事実と自分の考えを整理するためにキャンディーチャートを使用し、幕府の定めたルールや海外政策などに分類してまとめ、課題解決を進めました。

時	学習目標 学習時間	事例のめあて	振り返り 物に学ぶこと（歴史的事実）	次週に活かしたいこと
1	単元の見通し「なぜ、江戸時代は争いが少ないのか」江戸幕府はなぜ争いを防いだのか			
2	江戸幕府の大名支配		【S・A・B・C】（調べ学習）	
3	江戸幕府の海外交流		【S・A・B・C】（調べ学習）	
4	江戸幕府と外国との関係		【S・A・B・C】（調べ学習）	

江戸幕府の大名支配について	江戸幕府の海外交流について	江戸幕府と外国との関係について
教科書P140～141	教科書P142～143	教科書P144～145
学習資料「幕府」	学習資料「海外」	学習資料「幕府」
児童が作成した「幕府」	児童が作成した「海外」	

調べ	【S】調べたことから、歴史的事実を知ることができた。	【A】調べたことから、自分の考えを述べた。	【B】調べたことから、自分の考えを述べた。	【C】調べたことから、自分の考えを述べた。
まとめ	【S】内政、と「外政」の観点や、その取り決めによる大名や庶民への影響という観点で説明している。	【A】幕府の関わりについて、内政と「外政」の観点で説明している。	【B】江戸幕府の取り決めが、説明できている。	【C】調べたことから、自分の考えを述べた。

使用した単元進行表



児童が作成したキャンディーチャート



学習計画へ

単元の見通しをもち、何を学ぶかが明確になったことで、自分が興味をもったことから学習目標を決める姿、自分に合った方法で調べ学習を進める姿、一つのことをじっくり調べる姿も見られました。

自分で学習計画を立て、計画に沿ってツールを選択しながら学習を進めることで、児童が問いを自分事として捉え、進んで学習に取り組むようになりました。